

(3) 安全・安心・信頼の確保

現状と課題

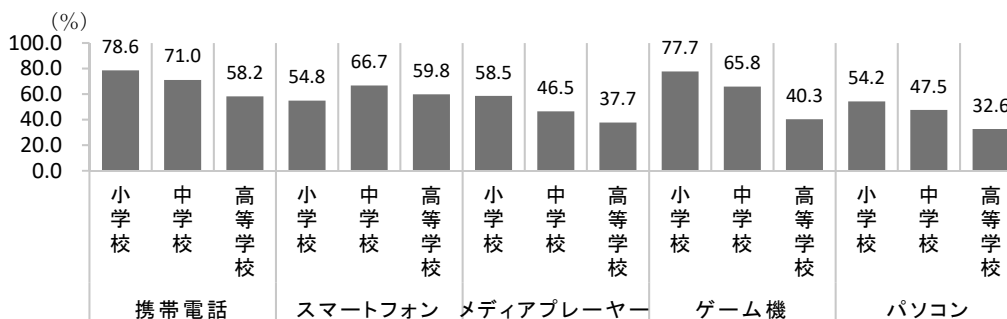
- 子どもたちが安心して安全に学校生活を送るためには、自然災害や事件・事故から児童生徒の安全を守る環境整備と、学校全体での組織的な安全体制を構築するとともに、地域全体で子どもの安全を見守る体制づくりを推進する必要があります。
- 「青少年は地域社会からはぐくむ」という観点から、青少年の健やかな育成に必要な社会環境づくりに向けて、官民一体となって取り組む必要があります。
- 青少年のインターネット・スマートフォン利用が適正に行われるよう、メディアリテラシー*の向上に向けた取組の推進が求められています。
- 性教育や人権教育、情報モラル教育*などの研修会を地域で開催するなど、子どもを性被害から地域全体で守るための取組が必要になっています。

図4-(3) インターネットを利用している児童生徒の状況 (平成29年度)

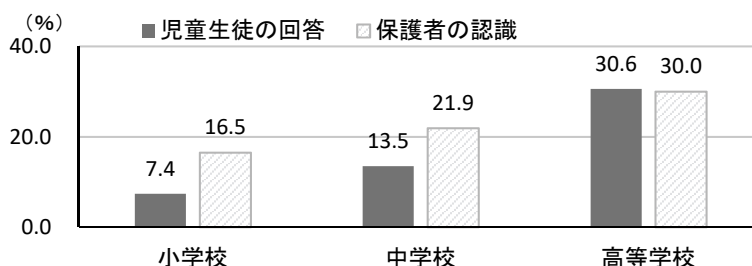
- 学校の授業以外でインターネットを利用していると回答した児童生徒の割合

小学生	中学生	高校生
85.2%	93.1%	98.2%

- インターネットに接続できる機器別フィルタリングの利用状況



- 自分には (お子様には) 「ネット依存の傾向がある」と思う児童生徒・保護者の割合



心の支援課調べ

目指す成果

- ◆ 学校施設の耐震化・老朽化対策等により、安全で機能的な学校となるようにします。
- ◆ 児童生徒が安心して登校し、学校生活を送ることができるよう取り組みます。

主な施策の展開

子どもたちの安全・安心・信頼を確保するために、次のような取組を進めます。

① 学校施設設備の防災機能等の強化

- 県立学校の耐震改修工事や大規模改修・改築を計画的に実施し、教育環境の改善と安全性の確保を図ります。

② 学校安全の充実

- 学校安全計画や学校危機管理マニュアル等の見直しを支援するなど、学校における災害等発生時の安全管理の充実に取り組み、地域全体で交通事故や犯罪等から子どもの安全を見守る体制づくりを推進します。



さまざまな状況下の実践的な避難訓練

③ 青少年健全育成、健全な社会環境づくり

- 「青少年は地域社会からはぐくむ」という観点から、学校・家庭・地域住民・企業・団体・行政が一体となり、「県民総ぐるみの青少年育成運動」を推進します。
- 信州あいさつ運動、街頭補導や声かけ運動、子どもの居場所づくりへの参加など、地域で青少年を見守り、育てるボランティアである青少年サポーターを養成します。
- インターネットやスマートフォンなどの急速な普及に対応し、青少年のメディアリテラシーの向上及び適正な利用を推進します。
- 成人向け図書や情報などの青少年を取り巻く有害な社会環境から子どもたちを守るため、地域での巡回活動や啓発運動を支援します。
- 非行防止教室の開催や少年サポートセンターによる少年、保護者に対する相談活動を通じて、少年の立ち直り支援や少年の規範意識の向上を図ります。

④ 性被害防止に向けた指導の充実

- 子どもの性被害を防止するため、外部人材を活用した指導を推進するとともに、児童生徒が性に関する正しい知識を習得し、自己や他者を尊重して健康な生活を送るための資質・能力を養います。
- 保護者や地域住民等が、性教育や人権教育、情報モラル等について自主的に学ぶことにより、子どもたちを性被害から守る取組を進めます。



性教育に関する研修会の様子

成果指標

成果指標項目	現 状	目 標	備 考
子どもたちが利用する学校等の耐震化率	98.02% (2016 年度)	100% (2020 年度)	建築住宅課調べ「長野県耐震改修促進計画（第Ⅱ期）」 一定規模以上の学校、幼稚園、保育所の施設のうち、耐震性を有する施設の割合

※ 目標の年次は、本計画の最終年度の実績を評価する 2023 年度に把握できるものとしています。